

平成 2 9 年 度

事 業 報 告 書

社 会 福 祉 法 人
ふ き の と う の 会

1. 法人本部

通所介護の実績は思うようには振るわず、デイホーム赤堤、ふきのとうデイホームは赤字となり、デイホーム桜丘も利益幅が縮小したことにより、社会福祉事業部門は赤字となった。公益事業が順調だったことから全体的に収支は均衡だった。運営面では、各施設の中核を担う、リーダー層を対象としたリーダー会議と担当者会議等を横断的に行い、また内外の研修会を組み合わせることで、サービスの質の向上とスキルアップを図れるように取り組んできた。しかしながら利用実績が振るわなかったことから、職員の意識改革や業務の進め方等今までの運営スタイルを見直す時期だと考える。

昨年同様に、地域福祉・居場所・ネットワーク形成支援を中心にした「ふきのとう学習会」を開催した。昨年4月の第9弾は、天野秀明氏（NPO日本冒険遊び場づくり協会理事）を講師にお招きして、こどもの遊び場からはじまるまちづくりの実践を学んだ。第10回は空き家活用を安藤勝信氏（(株)アンディート代表取締役・世田谷区）より、第11回は子どもたちの学習支援の事例を岩岡いずみ氏（寺子屋いずみ・世田谷区）より、第12回は子育て広場の取り組みを松田妙子氏（NPO世田谷子育てネット代表理事・世田谷区）より、第13回は世代を結ぶ全員参加のまちづくりを林泰義氏（都市計画家・まちづくりプランナー・世田谷区）より、第14回は児童館を通じた子どもたちの現状を山田勝正氏・村松将典氏（喜多見児童館・世田谷区）より、第15回は地域でつながるコミュニティカフェ・こども食堂の可能性を米田佐知子氏（子ども未来サポートオフィス代表・神奈川県）より、第16回は我が事・丸ごと地域共生社会の実現に向けた取り組みを後藤真一郎氏（厚生労働省社会・援護局地域福祉課 地域福祉専門官）より学んだ。多彩な講師陣をお招きして、各回25名程度の地域住民や学生、研究者、行政他関係機関の方々が参加している。こうした学びとネットワーク構築の機会は、地域共生社会の実現に向けて、制度を超えて地域をともに創っていくという地域共生社会を横断的に考える際のきっかけづくりにつながると考える。次年度も継続することで、参加型の地域福祉社会の醸成に寄与したい。

理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会は、下記のとおり開催した。

・第69回 理事会

日 時	平成29年5月28日
場 所	ふきのとうデイホーム
議 事	・平成28年度 事業報告 ・平成28年度 決算報告

- ・評議員選任・解任委員会への新評議員2名の推薦について
- ・定時評議員会の招集について
- ・定時評議員会の目的となる議題について
- ・ふきのとうデイホームの施設長選任について

・評議員選任・解任委員会

日 時 平成29年5月28日
場 所 ふきのとうデイホーム
議 事 ・新評議員2名の選任について

・第69回 臨時評議員会

日 時 平成29年5月28日
場 所 ふきのとうデイホーム
議 題 ・新役員の選任について

・第70回 定時評議員会

日 時 平成29年6月17日
場 所 デイホーム赤堤
議 題 ・平成28年度決算報告（計算書類及び財産目録）
・役員等報酬の支給の基準・報酬総額（役員等報酬規程）に
ついて

・第70回 理事会

日 時 平成29年6月17日
場 所 デイホーム赤堤
議 題 ・理事長の互選について
・役員の使用弁償規程の改正

・第71回 理事会

日 時 平成29年10月29日
場 所 ふきのとうデイホーム
議 題 ・松沢地域包括支援センターの管理職の任命について
・第71回臨時評議員会の開催について

・第72回 理事会

日 時 平成30年3月11日
場 所 ふきのとうデイホーム

- 議 題 ・ 29年度補正予算、30年度事業計画・予算
- ・ 経理規定の改正
- ・ 事案決済専決事項の改正
- ・ 役員報酬規定の改正
- ・ 臨時評議員会について

- ・ 第71回 臨時評議員会
- 日 時 平成30年3月21日
- 場 所 デイホーム赤堤
- 議 題 ・ 事業計画書及び収支予算について
- ・ 役員等報酬規程の改正について

2. 公益事業

1. 「第20回全国食事サービス活動セミナー」の開催

- 日 時 平成29年7月23日（日）
 - 会 場 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 本社カフェテリア
 - 参加者 約120名
 - 主 催 一般社団法人全国食支援活動協力会（ミールズ・オン・ホールズ日本協会）
- 当法人は共催として参加。

2. サービス付き高齢者向け住宅アンジェリカハイツの運営

現在満室で、入居希望者からの問い合わせが数多く寄せられている。毎週水曜日にコミュニティカフェを開催し、入居者のコミュニティを推進すると共に、地域のボランティアや入居者同士のつながりをつくる貴重な機会となっている。

生活支援サービスは、ふきのとうスタッフによる毎日の安否確認および相談、総合警備保障(株)との契約による夜間・休日の緊急対応等が行われている。穏やかな見守りのもと、可能な限り自立した高齢者の暮らしが行われている。

3. 老人給食協力会ふきのとうとの連携

ふきのとうの本部毎日型食事サービスやホームヘルプサービス活動に対する支援、また地域協働を推進するための学習会や催事等を老人給食協力会ふきのとうと共催した。

- ①コミュニティカフェ・ふきのとう

- ・毎週水曜日 13:00～15:00 オープン
- ・ふきのとう kite-mite バザー (11月5日)
参加者約 100名 ふきのとうデイホーム
- ・「手前みそづくり」(2月25日) 参加者 12名 ふきのとうデイホーム

②ふきのとうボランティア研修会(8月27日)

参加者 30名 ふきのとうデイホーム

目的 ボランティアと地域住民の意識と技術の向上

内容 ・地域包括ケアの理解

・認知症の方への接し方

・高齢者の健康な食生活(低栄養・口腔ケア・脳トレ体操・食品衛生について)

・ふきのとうの歩み「吉沢久子先生のビデオメッセージから」

・ボランティア活動について

③ふきのとう学習会の開催

地域住民や学生、研究者、行政他関係機関の方々が学び交流する機会を提供している。各回 25名程度で、ふきのとうデイホームにて開催。

- ・第9回 講師：天野秀明氏(日本冒険遊び場づくり協会) 4月22日
- ・第10回 講師：安藤勝信氏((株)アンディート代表取締役) 5月20日
- ・第11回 講師：岩岡いずみ氏(寺子屋いずみ・世田谷区) 7月1日
- ・第12回 講師：松田妙子氏(世田谷子育てネット代表理事) 9月2日
- ・第13回 講師：林泰義氏(まちづくりプランナー) 10月7日
- ・第14回 講師：山田勝正氏・村松将典氏(世田谷区喜多見児童館) 11月25日
- ・第15回 講師：米田佐知子氏(子ども未来サポートオフィス代表) 1月13日
- ・第16回 講師：後藤真一郎氏(厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域福祉専門官) 2月17日

3. デイホーム赤堤

今年度は季節外れのインフルエンザの蔓延により、営業自粛をしたので実績が落ち込む要因の一つとなった。また、人員においても安定した確保が出来なかった為に機能訓練加算の算定が出来ず、実績が思うように上がらなかった。入浴設備がない施設だが、その代わりに多様なプログラムがあり、利用者に単一なお仕着せのプログラムを提供するのではなく、陶芸や編み物、声楽等の専門知識を持ったボランティアの先生も充実しており、経験豊富な職員によるきめ細やかな対応と合わせて、利用者の個性や能力に合ったプログラムを毎日提供できることが運営の特徴となっている。今後は利用実績につながるように、施設の持ち味を生かした新たなプログラム作りを進めたい。

居宅支援事業所においては、利用実績は大きな変動もなく維持することができた。まだまだ知識と経験不足は否めないなので、今後はよりきめ細やかなケアプランや対応ができるように努めたい。

- 1. 介護保険事業
 - ①通所介護（食事、送迎あり）
 - 一般型 定員35名（総合事業通所介護含む）
 - 認知症型 定員12名
 - ②居宅介護支援
- 2. 世田谷区委託事業
 - ①配食サービス
 - ②高齢者住宅生活協力員業務

ボランティア・実習の受け入れ

地域に開かれた施設づくりを目指して開放的な環境をつくることに日々努力し、教育機関と連携しながらボランティア体験や実習の受け入れを実施した。

小学校2校 中学校2校

松沢青少年ボランティア38名 夏休みボランティアその他 2名

ボランティア活動状況

調理	実人員	20名	延べ人員	1, 238名	
配達	実人員	10名	延べ人員	685名	
介護	実人員	17名	延べ人員	767名	
プログラム	団体35	個人24名	延べ人員	1, 435名	
		計44団体	72名	計	4, 125名

4. デイホーム桜丘

昨年度より若干下がったものの、全体では利用者数はほぼ順調に推移した。ただし、単価の高い認知デイはケアマネ・ご家族双方から敬遠される傾向があり、利用率6割と低迷している。プログラムの見直しを含めた認知症対応型デイのあり方が課題となっている。

地域の母親グループと協働して9月より開始した子ども食堂は、毎月1回、平日夜に行っている。回を重ねるごとに利用者が増えて100名近くとなり、増え続ける食数にどこまで対応できるか、また、多世代交流や相談援助につなげていく工夫等、試行錯誤しているところである。

桜丘一丁目町会と連携した日曜サロンは、3回実施した。28年度より設置が義務づけられたデイサービスの運営推進会議では、地区内デイサービスの幹事施設を務め、「地域における認知症ケア」をテーマに町会関係者や民生委員等、地域の代表者らと検討を続けている。あんしんすこやかセンター主催の地域包括ケア会議や見守りネットワーク推進会議等にも積極的に参加し、地域における福祉拠点の役割を果たすべく努めてきた。

1. 介護保険事業 ①通所介護
 一般型 定員30名（総合事業通所介護含む）
 認知症型 定員12名
2. 世田谷区委託事業 ①配食サービス
 ②高齢者住宅生活協力員業務

教育機関との連携、実習の受け入れ

桜丘小学校・4年生交流 12回 車イス体験等授業協力 6回
南桜丘保育園交流 1回
人間総合科学大学（管理栄養士養成実習） 2名 延べ20日
中学校4校、職場体験・奉仕体験受入 延べ27名
小学生、中学生、夏休みボランティア受入他 24名（延べ51名）

ボランティア活動状況

調 理	実人員	25名	延べ人員	1,019名	
配 達	実人員	8名	延べ人員	364名	
介 護	実人員	14名	延べ人員	1,004名	
プログラム	実人員	164名	延べ人員	758名	
(17団体、40個人)					
		計	211名	計	3,145名

5. ふきのとうデイホーム

8月に個別機能訓練加算をⅠからⅡに移行し、加算の取れる日数が9割に増え、順調に推移した。2月にインフルエンザの発症者が多数出て、5日間の営業自粛をしたため、実績の落ち込みの原因の1つとなった。また、管理者が交代となったが、引き継ぎは特に問題なく行われた。次年度は、新たな職員体制となるが、今後も地域と連携することで、地域に開かれた施設づくりに取り組みたい。

運 営

一般型通所介護 定員25名：月・火・金（総合事業通所介護を含む）

定員20名：水・木・土（総合事業通所介護を含む）

食事、送迎、入浴あり

職員体制 管理者（相談員兼務）1名、相談員（介護員兼務）1名

看護師3名（含む非常勤2名） 介護員6名（含む非常勤4名）

ボランティア活動状況

配膳・ケア	実人員	11名	延べ人員	347名
プログラム	実人員	51名	延べ人員	280名
		(7団体を含む)		
	計	62名	計	627名

※教育機関との連携として

○用賀小学生との交流 2回

1年生による近隣施設訪問

2年生による町探検

○夏休みのボランティア

○中学生の職場体験

6. 地域包括支援センター

世田谷区においては地域包括ケアの地区展開として、区の出張所・まちづくりセンター、地域包括支援センター、社会福祉協議会が連携し（三者連携）、福祉のワンストップサービスの拠点として位置づけられるとともに、相談支援の充実、地域の人材・社会資源の開発を連携して行うと位置づけられている。世田谷区条例や「世田谷区地域包括支援センター運営方針」、及び関連法令に基づき事業を実施した。地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的、継続的に支援するために、地域住民にとって高齢者に対する身近な相談窓口となるように努めた。また、地域社会との関連性を重視した事業運営に取り組んできた。

1. 松沢地域包括支援センター

年間延べ相談件数は3,974件。大部分は相談者を訪問して実施している。窓口以外に年に4回発行している広報紙やサロン等に参加し、あんしんすこやかセンターの周知を行っている。認知症や精神疾患を抱えている支援が必要な高齢者の見守りや、消費者被害の防止を目的に民生委員、町会、サロン活動等の場に出向く地域づくり活動は、年間200回実施した。また、まちづくりセンターを中心にした社会福祉協議会、町会自治会等の地区内各活動団体、学校、民生委員児童委員協議会との協議に参加し、災害時対応（特に安否確認）の地区内共通認識について調整中のほか、孤立しがちな方々の見守りと行き場所づくりとして「おしゃべりカフェ」の平成29年度立ち上げを行い、延べ800人の利用があり、新規利用の方も増えている。

平成27年7月から引き続き、高齢者に限らず、障害者等、子育て家庭、生活困窮者等に係る相談支援業務（いわゆる「相談拡充」）を実施し、相談件数は85件であった。昨年同様精神疾患を抱えている同居家族の相談から高齢者と同居している介護をしながら子育てもしている家庭の相談が増えており、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。

平成28年10月からの地区連携医事業では、担当医師、地区内で活動している居宅支援事業所の管理者・主任ケアマネジャー、あんしんすこやかセンターによる事例検討と意見交換を毎月実施し相互の理解深め、顔の見える関係が構築出来た。平成30年度より、在宅療養窓口設置に伴い、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地区連携医と協働し在宅療養について地域住民に周知していく予定である。

2. 経堂地域包括支援センター

年間延べ相談件数は4,721件。高齢者以外の相談（相談拡充）延べ件数は42件だった。高齢者以外の相談は要介護高齢者と精神障害等を抱えた子どもの同居世帯、いわゆる8050世帯の相談が中心となっている。また、予防給付から総合事業のプランへ移行が進み、総合事業の介護予防マネジメントの年間作成件数は2,385件。予防給付のプラン件数を合計すると4,152件となっており平成28年度より344件増加した。要支援認定から要介護認定に引き継ぐケース等も多く、平成29年度もプラン作成に関する業務に職員が多くの時間を費やす状況となっている。

相談支援においては医療機関の入院治療のハードルが高くなったことや家族の役割の変化（キーパーソン不在）、生活困窮等により継続支援が必要なケースが増えている。そのため行政機関を中心とした医療機関、介護サービス事業者等の連携強化の必要性は高く、平成29年度もチームケアを主題にした地区包括ケア会議を開催した。地区連携医事業では医師会が指定した在宅支援診療所医師の協力を得て、地区のヘルパーやケアマネジャー、訪問看護師等に質の向上のための研修会を開催した。

その他、孤立死や消費者被害防止等の予防に向けた地区の見守りを推進するための見守りネットワーク連絡会を区のまちづくりセンター、社会福祉協議会、包括支援センター三者連携の取り組みとして行っている。

デイホーム赤堤 平成29年度 事業実績 総括表

通所介護サービス

	実施日数	延べ人数	日平均数	実人員
通常型	308	7,862	25.5	111
予防型	308	882	2.9	21
認知型	308	1,863	6.0	28
合 計	308	10,607	34.4	160

配食サービス

実施日数	延べ人数	日平均数	実人員
294	7,384	25.1	41

居宅介護支援

延べ人数	実人員
441	50

デイホーム桜丘 平成29年度 事業実績 総括表

通所介護サービス

	実施日数	延べ人数	日平均数	実人員
通常型	293	6,773	23.1	112
予防型	293	1,017	3.5	19
認知型	293	2,145	7.3	32
合 計	293	9,935	33.9	163

配食サービス

	実施日数	延べ人数	日平均数	実人員
	293	7,355	25.1	42

ふきのとうデイホーム 平成29年度 事業実績 総括表

通所介護サービス

	実施日数	延べ人数	日平均数	実人員
通常型	305	4,070	13.3	82
予防型	305	638	2.1	14
合 計	305	4,708	15.4	96

松沢地域包括支援センター

平成29年度 事業実績報告書(年間集計)

延べ相談件数		3,974
うち相談拡充 相談件数		85
総合事業ケアマネジメント 実施件数		1,791
内 訳	ケアマネジメントA 実施件数	1,783
	うち、都外住所地特例者	0
	ケアマネジメントB 実施件数	8
	うち、都外住所地特例者	0
	ケアマネジメントC 実施件数	0
	うち、都外住所地特例者	0
会議・ 講座	地区版地域ケア会議	8
	地区包括ケア会議	23
	地区連携医事業	13
	三者連携会議	13
	地域密着サービス関連会議	2
	家族介護者の会	6
	いきいき講座	2
介護 保険	新規申請受付数	338
	更新申請受付数	144
	区分変更受付数	22
その 他	食の自立アセスメント実施数	27
	保健福祉サービス申請件数	58
	研修等出席回数	20
	地域づくり活動 実施件数	200

予防給付ケアプラン数

835

経堂地域包括支援センター

平成29年度 事業実績報告書(年間集計)

延べ相談件数		4,721
うち相談拡充 相談件数		42
総合事業ケアマネジメント 実施件数		2,385
内 訳	ケアマネジメントA 実施件数	2,371
	うち、都外住所地特例者	28
	ケアマネジメントB 実施件数	11
	うち、都外住所地特例者	0
	ケアマネジメントC 実施件数	3
	うち、都外住所地特例者	0
会 議 ・ 講 座	地区版地域ケア会議	7
	地区包括ケア会議	14
	地区連携医事業	11
	三者連携会議	12
	地域密着サービス関連会議	13
	家族介護者の会	7
	いきいき講座	1
介 護 保 険	新規申請受付数	503
	更新申請受付数	378
	区分変更受付数	78
そ の 他	食の自立アセスメント実施数	30
	保健福祉サービス申請件数	187
	研修等出席回数	26
	地域づくり活動 実施件数	47

予防給付ケアプラン数	1,767
------------	-------

基本金明細書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

法人名：社会福祉法人ふきのとうの会

(単位：円)

区分並びに組入れ及び 取崩しの事由	合計	各拠点区分ごとの内訳						
		法人本部	ふきのとう デイホーム	デイホーム 赤堤	デイホーム 桜丘	松沢 地域包括	経堂 地域包括	アンジェリカ ハイツ
前年度末残高	11,000,000	11,000,000						
第一号基本金								
第二号基本金								
第三号基本金	11,000,000	11,000,000						
第一号基本金								
当期組入額								
当期取崩額								
第二号基本金								
当期組入額								
当期取崩額								
第三号基本金								
当期組入額								
当期取崩額								
当期末残高	11,000,000	11,000,000						
第一号基本金								
第二号基本金								
第三号基本金	11,000,000	11,000,000						

合 計	8	262,400		260,000	2,400	0				
-----	---	---------	--	---------	-------	---	--	--	--	--

事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書

(自)平成29年 4月 1日 (至)平成30年 3月31日

法人名：社会福祉法人ふきのとうの会

1) 事業区分間繰入金明細書

(単位：円)

事業区分名		繰入金の財源	金額	使用目的等
繰入元	繰入先			
公益事業(松沢包括拠点)	社会福祉事業(法人本部拠点)	介護保険収入	5,000,000	運転資金
公益事業(経堂包括拠点)	社会福祉事業(法人本部拠点)	介護保険収入	15,000,000	同 上
公益事業(アンジェリカ拠点)	社会福祉事業(法人本部拠点)	公益事業収入	2,000,000	同 上
計			22,000,000	

2) 拠点区分間繰入金明細書

(単位：円)

拠点区分名		繰入金の財源	金額	使用目的等
繰入元	繰入先			
法人本部拠点	ふきのとうデイホーム拠点	支払資金残高	2,000,000	運転資金
法人本部拠点	デイホーム赤堤拠点	支払資金残高	6,000,000	運転資金
デイホーム桜丘拠点	法人本部拠点	介護保険収入	8,000,000	同 上
計			16,000,000	

事業区分間及び拠点区分間貸付金(借入金)残高明細書

(自)平成29年 4月 1日 (至)平成30年 3月31日

法人名：社会福祉法人ふきのとうの会

1) 事業区分間貸付金(借入金)明細書

(単位：円)

	貸付事業区分名	借入事業区分名	金額	使用目的等
短期	公益事業区分	社会福祉事業区分	1,000,000	運転資金
長期				
	計		1,000,000	

2) 拠点区分間貸付金(借入金)明細書

(単位：円)

	貸付拠点区分名	借入拠点区分名	金額	使用目的等
短期	法人本部拠点	ふきのとうデイホーム拠点	5,000,000	運転資金
短期	法人本部拠点	デイホーム赤堤拠点	4,000,000	運転資金
短期				
長期				
	計		9,000,000	

借入金明細書

(自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日

法人名:社会福祉法人ふきのとうの会

(単位:円)

区分	借入先	拠点区分	期首残高 ①	当期借入金 ②	当期償還額 ③	差引期末残高 ④=①+②-③ (うち1年以内 召還予定額)	元金償還補助金	利率 %	支払利息		返済期限	用途	担保資産		
									当期支出額	利息補助金収入			種類	地番または内容	帳簿価格
設備資金借入金	独立行政 法人福祉 医療機構	本部	84,175,000	0	5,460,000	78,715,000 (5,460,000)	0	1.25%	1,020,900	579,426	2032年8月	施設整備 (デイ)	土地	世田谷区上用 賀6丁目43番 6および7	172,000,000
	世田谷信 用金庫	本部	19,059,000	0	1,212,000	17,847,000 (1,212,000)	0	2.50%	462,667	0	2032年11月	施設整備 (デイ)	共同 担保	デイサービス 266.95㎡	79,166,307
	同 上	アンジェ リカハイ ツ	31,194,000	0	1,992,000	29,202,000 (1,992,000)	0	2.50%	757,160	0	同 上	施設整備 (住宅)		建物	高齢者住宅 144.51㎡
	計			134,428,000	0	8,664,000	125,764,000 (8,664,000)	0		2,240,727	579,426				293,794,237
役員等長期借入金	平野覚治	本部	25,000,000	0	0	25,000,000	0	なし			2023年3月	運営資金	なし		
	計			25,000,000	0	0	25,000,000	0							
合 計			159,428,000	0	8,664,000	150,764,000	0		2,240,727	579,426					293,794,237

国庫補助金等特別積立金明細書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

法人名：社会福祉法人ふきのとうの会

(単位：円)

区分並びに積立 及び取崩の事由	補助金の種類			合計	各拠点区分の内訳						
	国庫補助金	地方公共団体 補助金	その他の団体 からの補助金		法人本部	デイホーム 赤堤	デイホーム 桜丘	ふきのとう デイホーム	松沢 地域包括	経堂 地域包括	アンジェリカ ハイツ
前期繰越額	/	/	/	2,365,625			2,100,000				265,625
当期積立額				0							
当期取崩額	/	/	/	538,200			350,700				187,500
当期取崩額合計	/	/	/	538,200			350,700				187,500
当期末残高	/	/	/	1,827,425			1,749,300				78,125

補助金事業等収益明細書

(自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

法人名：社会福祉法人ふきのとうの会

(単位：円)

交付団体及び交付の目的	区分	交付金額	補助金事業にかかると利用者からの収益	交付金額等合計	うち国庫補助金等特別積立金積立額	交付金額等合計の拠点区分ごとの内訳						
						法人本部	デイホーム赤堤	デイホーム桜丘	ふきのとうデイホーム	松沢地域包括	経堂地域包括	アンジェリカハイツ
世田谷区 保守管理経費補助	介護事業	2,594,676		2,594,676	0		1,083,972	1,510,704				
東京都福祉保健財団 福祉医療機構借入金 利子補給費	利息	579,426		579,426	0	579,426						
世田谷区 福祉施設等支援事業 助成	施設	599,832		599,832	0		299,916	299,916				
合 計		3,773,934		3,773,934	0	579,426	1,383,888	1,810,620				

監事監査報告書


平成30年5月10日

社会福祉法人ふきのとうの会
理事長 平野覚治殿

監事

佐藤 亨一 

監事

中島 智人 

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の理事の職務について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその付属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査報告書

社会福祉法人ふきのとうの会

理事長 平野 覚治 殿

私 鶴沢 章は、平成29年4月1日から平成30年3月31日
までの決算報告書及び付属明細書等の計算書類を監査しました結
果、適法かつ正確であることを認めます。

平成30年5月 9 日

東京都立川市綿町2-3-6

鶴沢章 税理士事務所

税理士 鶴澤 章



電話 042-525-2713